

今後の板橋公園のあり方について

1 新たな板橋公園の計画づくりについて

板橋公園再整備の計画づくりを進めています。再整備のテーマの一つに、「だれもが多様な楽しみ方ができ、交流が生まれる公園」を掲げ、「区民や地域との連携」や「ユニバーサルデザイン」を取り入れた公園をめざしています。

2 再整備に向けた取り組み

(1) 区民団体等ヒアリング

地域の子育て世代や保育園、福祉作業所、町会など 30 団体に、板橋公園の利用実態や、課題、理想の管理運営等についてヒアリングを行いました。

(2) 公園投票板を用いたヒアリング

公園マルシェ社会実験や地元町会の納涼祭において、公園投票板を設置し、再整備後の活用アイデアについて、対話を通じて集めました。

(3) ワークショップ

「地域住民及び利用者」と「板橋第十小学校 5 年生」を対象にそれぞれ実施しました。「自分の住む地域をどのようにしていきたいか、それを踏まえてどういう公園にしたいか」を話し合い、出された意見はグラフィックレコーディングの手法を用いて可視化しました。



【公園投票板を用いたヒアリング】



【ワークショップでの意見】

3 利用者・地域住民などからの意見（抜粋）

めざす 地域

世代、人種、国籍、障がいの有無を超えた人との交流がある

- 公園を通じてみんなで明るくコミュニケーションがとれる
- 地域の中で多様な“得意”を持っている人と公園を通してマッチング
- 誰もが安心して遊べるように配慮された公園がある地域
- 防災意識のある地域

遊ぶ

- 大人、子ども問わず、誰もが仲良く楽しく過ごせる、壁を感じることのない公園
- 地域住民、民間、シニア層、障がいを持った方など様々な人にプレイリーダーとして活躍してもらう
- 障がいに対し理解のある人を登用

集まる

- 多世代交流できるイベントの定期開催（キッチンカー祭り、雪合戦、各地の寄せ鍋会、防災訓練など）
- 既存の住人、引越してきた新たな住民にも地域に愛着を持ってもらい、地域で良い思い出を作る
- 地域のコーディネーターの配置や、個人や団体が気軽にイベントを企画、実行できる仕組みづくり
- 多くの人が集まり、利用できるコミュニティスペースの設置

学ぶ

- すべての子どもたちへ交通ルールの基礎を教育
- 職業体験、青空絵本会、おはなし会
- 地域の人が先生や講師となり、子ども向けや大人向けの参加型ワークショップの開催

食べる

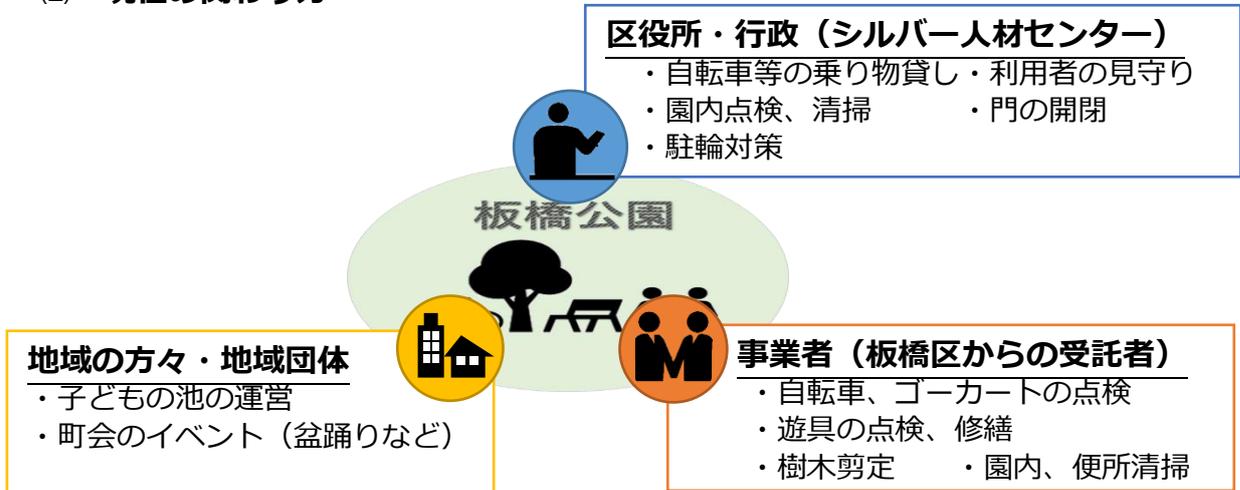
- 子どもたち、地域の人、外国の人、シニアの人みんなで食べる
- フードロスを考える
- 果実、野菜などを公園内で栽培したり、板橋独特の野菜を食べるBBQを実施したりするなど、「地域の食育」の啓蒙

その他

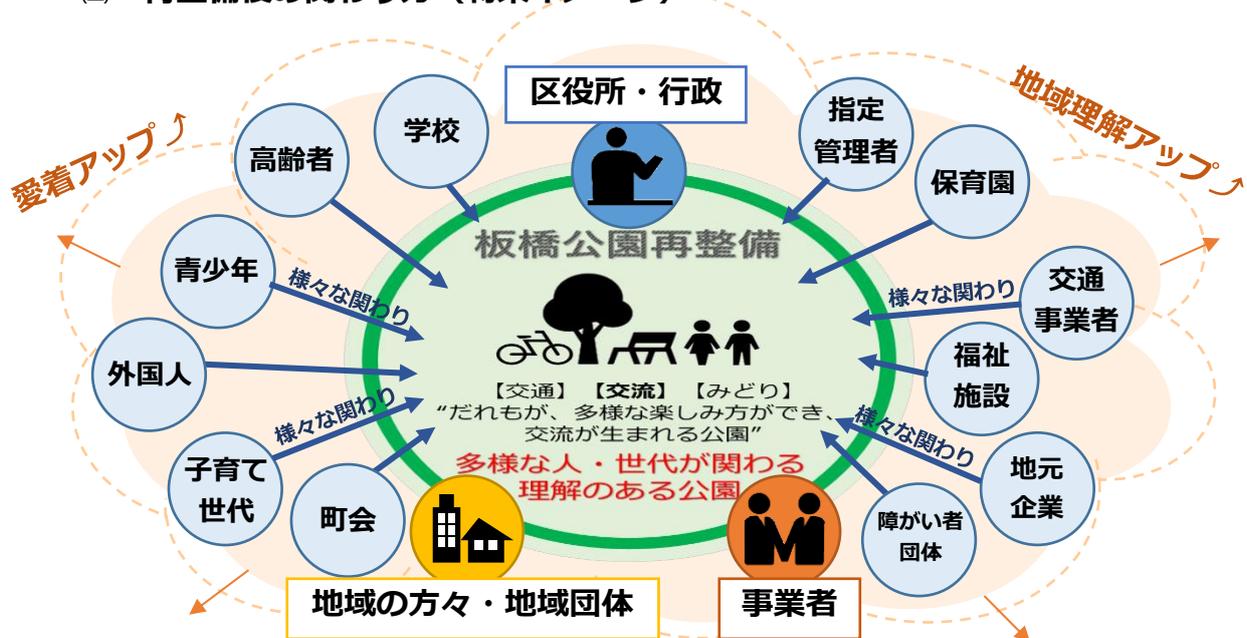
- 自然環境に配慮した公園
- 板橋の歴史などを継承していける公園
- 区内中学校の園芸部、福祉作業所の方々、デイケアサービスに通う方々等、植物に触れ、外で活動することを前向きな人に関わってもらう
- ゴミ拾いボランティア
- SNSやインターネットなどを利用した、公園に関する情報の発信

4 板橋公園への関わり方について

(1) 現在の関わり方



(2) 再整備後の関わり方 (将来イメージ)



5 ご意見・ご提案いただきたいこと

以下の項目について、ご意見をお願いします。

- 多様な人が利用する公園になるにあたり、日常的に管理する人に配慮してほしい対応について教えてください。
- 未永く地域に愛される公園にするための具体的な関わり方を、事例・経験などから教えてください。